

# ★サキタ・キラリ 北辰の輝き★

～わくわく・きらきらの佐世保北高だより～

2025.11

## ★県総文祭・開会式@11/7 アルカス佐世保★

佐世保が主会場となった今年度の県総文祭。実行委員として本校2年の大浦桃佳さん、田中優唯奈さん、総合司会として田中舞桜さんが大活躍しました。

アトラクションでは、邦楽部や吹奏楽がさわやかな音楽を披露し、会場では茶道部による呈茶もふるまわれました。

また、1年生全員が会場にかけつけ、同じ世代が放つ文化の輝きを楽しみました！



実行副委員長・大浦さんによる開会宣言  
ファンファーレ部隊も佐北吹奏楽部が担当しました！



今回の総文祭テーマ～手紙～の基ビジュアルも1年宮本葵さんが制作し、パンフレットの表紙や会場を彩りました。



## ★九州大会出場★

放送部・田中舞桜さん（2年）／文芸部・大村明愛さん（2年）



聞いてくださる方の心に残るよう、精一杯「伝えて」きます！（田中舞桜）



より広い見聞を九州大会で得てきます！（大村明愛）

## 写真部



最優秀賞 淵上真名（2年）  
優良賞 向山 韶（2年）  
優良賞 山川芽依（2年）



「家族団らんのひとときを撮影した写真です。家族の温かさや幸福感を感じられるような作品になるように心がけました。見てくださる方々が、少しでもあたたかい気持ちになれば嬉しいです。」（渕上真名）

全国大会出品決定  
渕上真名「幸」

## 美術部 県高校美術展 ★九州大会出品決定★

デザイン部門 イラストレーション

優秀賞 山本芽依（2年）

交通事故防止のためのイラストレーション

題名「赤信号」

※R8九州高校総文祭・県代表

デザイン部門

優良賞 久保穂香（3年）

小説の表紙のためのイラストレーション

題名「花の色は」

絵画部門

優秀賞 狩集百葉（3年）

「蜻蛉絵日記」

優良賞 猪口琢己（2年）

「#5EBCD3ゴトウブルー」



## 書道部 挥毫大会 ★九州大会出場★



優秀賞 渡邊真結（2年）

※R8九州総文祭・県代表

優秀賞 森耶哉子（2年）

美術・書道の作品は次号でも紹介します♪

## 11/5 読書集会★中高合同ビブリオバトル

中3～高2のバトラー4名がおススメ本の魅力を語ってくれました。



高1 中村優海さん  
榎林鉄著：あと十五秒で死ぬ  
中3 川原侑莉さん  
木爾チレン著：  
二人一組になってください  
高3 相原里咲さん  
朝井リョウ著：生殖記 チャンプ本  
中3 副島勇亮さん  
武田綾乃著：嘘つきなふたり

## ★11/12 マラソン大会 1位：男子/富永さん、女子/杉谷さん



マラソン大会を実施しました。お互いに応援しあえるのも佐北の魅力！



## 受験生応援行事～For brand-new days～

受験勉強によるストレスを少しでも軽減し、リフレッシュしてもらいたい！  
という思いで企画されました。学校からパールシーリゾートまで歩き、様々なレクリエーションを楽しみ、78回生の笑顔が満開です。受験に向けてパワー充電できました！



## ★人生の達人セミナー★



11/4 中山芳一先生をお招きし、非認知能力やメタ認知の必要性を学びました！  
自己分析して、向上しよう！



## 県内企業説明会



11/19 県内企業をお招きし、職業観・勤労観、働くことの意味、そして自分の目指す道を考えました！

## 佐北生・体育部も活躍しています！

＜県新人戦＞剣道部 九州大会出場  
男子準優勝 女子第3位



＜県新人大会＞柔道部  
女子第3位  
1年牟田桜雪



＜佐世保地区新人戦＞  
女子バスケ第3位！



＜県新人大会＞空手道部 九州大会出場  
優勝 2年上村昇龍  
男子団体組手2位、男子団体形2位  
女子団体組手3位



## 第70回記念県展・洋画部門入選 2年 溝越理彩さん 作品名「静謐なる深淵に交錯する時相」(80号油彩)



私はこの作品において、対極の物が交わる一点の“座標”を表現するためにいくつかの要素を盛り込み、自分自身の精神世界の中に存在する対を、それぞれ昼・夜、未来・過去で表しました。どちらも対の存在であると同時に、時に自分自身を苦しめる足枷になってしまふというジレンマを抱えています。

更に、背後のマッコウクジラは「強大な自然の力」や「無意識領域の生命力」のメタファーであり、同じ時間軸に存在する人間とクジラを対比する役割を持たせました。しかし、座礁してしまえば何も出来ないという無力さはいつの時代も人間が抱いてきた不安感と合致するところがあるのだと思います。  
この作品で長崎県美術展覧会(県展)の洋画部門に入選することができ、とても光栄に思います。  
(溝越理彩)

## 第72回長崎県家庭クラブ研究発表大会★最優秀賞★ ★全国大会出場決定 太田燈惟・藤原小桜・相原里咲

『野菜不足を脱出し隊！～ポラベジタブルでヘルシー生活～』  
佐北のキャラ・ポラリスくんが、様々な野菜を身にまとい、おいしく野菜不足を補う活動を展開してくれています。ポラリス・デー企画の料理教室も大好評でリピーター続出！おいしく健康づくりって理想的ですね♪



## ★英語スピーチコンテスト 九州大会出場★

長崎県大会において、第1部、2部ともに1位に輝きました！

長岡絆乃オーロラ（1年）

『Cantik sdadanya

-The courage to be myself-』

川口 直毅（2年）

『Seeking happiness』



## ★グローバル未来塾★2年田中優唯奈さん

### 令和7年度「グローバル未来塾」長崎研修



長崎研修11/1～3実施  
※9月広島研修にも参加

長崎県が広島県と連携し、被爆の実相や核兵器の非人道性、被爆者の想いを継承していく次代を担うリーダーを育成する事業。

グローバル未来塾の広島・長崎研修を通して、戦争の悲惨さと平和の大切さを次世代へつなげていくことの重要性を強く感じました。

私は小学生の頃から長崎の原爆について平和学習を受けており、戦争の恐ろしさ、平和の大切さを知っているつもりでいました。しかし、実際に広島と長崎を訪問し、より深く学んでいく中で知識不足を痛感しました。

私がこの研修を通して驚いたことがあります。それは世界の国々によって、原子爆弾に対するイメージが異なるということです。日本では原子爆弾は多くの人の命を一瞬で奪ってしまう恐ろしい兵器で、二度と使ってはいけないという考えがあります。しかし、アメリカにとって当時日本は貪欲な侵略者であり、原子爆弾の投下によって、戦争を早期に終結させることができた、日米両方の命が救われたのだという考えがあります。当時の国々の立場によって、原爆に対する考え方がこのように異なることを新たに知り、戦争の歴史を学ぶ上で物事を多角的に見ることの大切さを感じました。

今私たちは核兵器の傘に守られた偽りの平和の中を生きています。今現在、核保有国は実戦配備の核兵器数を増やしており、いつ原爆投下が行われてもおかしくない状況下にいます。この状況下の中、どのようにして危険性を世界で共有し、核廃絶に繋げていくのか、その道筋は各国の立場や関係性によって困難な部分が多くあります。また、今年は原爆投下から80年となる節目の年で、これから被爆体験者の方々がいない時代がやってきます。その時、どのようにして若い世代へ戦争の記憶と平和への願いを伝えていくのか。私自身の答えを見つけるために、まずはこれからもっと戦争と平和に対して知識を増やし、さまざまな人と出会っていろいろな考え方を知る経験をつんでいきたいです。（田中優唯奈）